

全日制 始業式

式 辞

年度の始めに私は皆さんたちに友達の話をしたと思います。

高校1年生の時、私の入ったクラスには同じ中学校から来ている人は一人もいませんでした。たまたま近くに座っていた生徒と話をするようになりました。マキという女の子でした。けれども私とマキは性格も違うし、趣味も全く違いました。マキはすごく真面目で優しい女の子でした。私はいい加減で傲慢な子でした。高校時代いつも少し気を遣いながら話していたことを今でも覚えています。でもなぜか、私たちは今でもとても仲のよい友人です。友達って不思議です。すごく仲がよかった子と卒業したら全く疎遠になることもあります。逆に話が合わないなあ。と思っていても、ある日の会話で、もしくは長い年月の間で友情が生まれていくこともあります。

皆さんは新しい年度が始まり「友達ができるかな」と不安になっているかもしれません。もしくは友達との関係に悩んでいる人もいるのかもしれません。友達は「作る」ものではなく「育てるもの」です。スタートダッシュは必要ありません。ゆっくりでいいので、同じ時間を過ごしながら、お互いの様々な面を見ていってください。じつは最近気づいたことですが、「好きなことが一緒」の友人より「嫌いなこと、許せないと思うことが一緒」の友人のほうが長く付き合えたりします。趣味や考え方が全く違う人を排除せず、是非じっくり話してみてください。

そして、もしかしたら「一人の方がいい」と思っている人もいるかもしれません。

実は私も高校時代、休み時間は一人ですっと本を読んでいました。高校時代、カフカ、ツルゲーネフ、カミュ、パールバック、遠藤周作、坂口安吾、太宰治が私の親友でした。私は彼らの書いた本から、自分以外の多様な他者が存在すること。努力とか想いとかとは関係なく、理不尽な出来事が起こること。そしてそれと同じくらい人生では素敵なことがあるということを知りました。本校の図書館は下北の学校で一番の蔵書数を誇っています。どうか友達を探しに図書館に行ってみてください。

新しい年度が始まります。田名部高校は教職員も含めここにいるすべての皆さんに高いレベルの知性と、品位ある振る舞いを求めます。同時にこれから皆さんたちがするであろう多くの失敗も許容します。

令和6年度、失敗を恐れず、自分自身の可能性を信じて、様々なことに挑戦してください。教職員一同、精一杯そんな皆さんを応援していきます。

そのことをお伝えして、令和6年度 始業式式辞とします。

校長